

令和7年度 道徳教育 全体計画

学校番号	87	大町岳陽 高等学校	全 課程	普通 学 科
------	----	-----------	------	--------

学校教育目標	
1	進取の気性に富み、心身ともに健康な人間を育成する。
2	真理を深く追究し、豊かな創造力と力強い実践力を持った人間を育成する。
3	地域の産業や文化を理解し、その将来を担う人間を育成する。
重点目標	
1	豊かな心とたくましい精神力を持ち、社会の形成者として必要な資質を備えた生徒の育成。
2	高い理想と強い志を持って、自己実現に向かって立ち向かっていける生徒の育成。
3	深い専門性と実践力を身につけ、真理の追究に真剣に取り組める生徒の育成。

道徳教育の重点目標	
1	本校生としての自覚を持ち、学校における諸活動を通して、自立心や自立性を身に付ける。
2	他者と協働する活動を通して、社会連帯の自覚を高め、社会の形成に参画する意欲と態度を養う。
3	義務を果たし責任を重んずる態度を養う。
4	自尊感情を育むことで自他の人権を尊重し、あらゆる差別や人権をなくすよう努める態度を養う。
5	生徒が安心して学校生活を営むことができる環境をつくる。そしていじめは絶対に許さないという態度を養う。

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等
1年	学校内外での諸活動を通して、自律的な行動に努め、人間としてよりよく生きていくための基本になる態度を養う。	基礎的・汎用的能力の育成からキャリア意識を高める活動に取り組む。 ○進路適性検査 ○進路学習 ○進路講話 ○コース選択	仲間とともに協力し合う活動の中で、他者と良好な人間関係を構築するとともに、自ら進んで行動する態度を養う。 ○スキー/スノボ教室 ○クラスマッチ ○人権学習	他者と関わりながら、集団の活動がよりよいものとなるよう努力する態度を養う。 ○部活動 ○文化祭 ○アジアフ活動 ○全校登山
2年	主体的に行動する態度を養い、人間としての在り方や生き方についての自覚を高めることで、よりよい社会の創造に係る一員として、他者と協働する態度を養う。	将来を展望し、自ら進路を切り拓くために、より具体的な進路目標を立て、実現に向けた学びに取り組む。 ○進路学習 ○課題研究 ○進路別科目選択	校内における諸活動の中心である自覚を持ち、他者の存在を尊重し、より良い集団づくりに向けて主体的に行動する態度を養う。 ○研修旅行 ○クラスマッチ ○人権学習	校内組織における中心的な存在として主体的に行動し、目標に実現に向けて他者と協働する態度を身に付ける。 ○部活動 ○文化祭 ○アジアフ活動 ○生徒会の運営 ○全校登山
3年	社会の諸課題に対して主体的に解決していこうとする資質・能力を育成し、全ての人々が尊重される社会の実現に係る道徳的実践意欲と態度を涵養する。	よりよい社会を構成する一人としての自覚を持ち、互いを尊重し合い、多様な進路希望実現のために学び合う態度を養う。 ○進路選択	社会の構成者としての自覚を持ち、学校や地域社会の諸課題を主体的・意欲的に解決していく態度を養う。 ○クラスマッチ ○高校卒業後の在り方 ○人権学習	社会を構成する一人としての自覚を養い、すべての人が尊重される社会の実現に向けた活動に取り組む。 ○生徒会の運営 ○文化祭の運営 ○アジアフ活動

各教科	
国語	他者との関わり合いの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養い、言語感覚を磨くことで道徳的心情や判断力を育む。
地理歴史	様々な社会事象に対して多面的・多角的に考察し理解を深めることで、社会の在り方や人間としての生き方について選択や判断する力を育む。
公民	現代における諸課題の解決に向けて多角的・多面的に考察し公正に判断する力や構想したことを議論する力を養う。
数学	数学的な事象を論理的に考察し、簡潔・明瞭・的確に判断する力を養うことで、創造性の基礎を養う。
理科	自然の事物・現象を探究する活動を通して、生命を尊重し、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度を育成する。
保健体育	様々な運動の経験を通して、自己の責任を果たし、粘り強くやり遂げる心や一人一人の違いを大切にできる態度を養う。
芸術	芸術を愛好する心情を育むことで感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
外国語	外国語の背景にある文化に対する理解を深めることで、主体的、自立的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
家庭	生活を主体的に営むために必要な技能を身につけ、家庭や地域社会の一員としての自覚をもって自分の生き方を考える態度を育成する。
情報	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を身に付ける。
総合的な探究の時間	横断的・総合的な学習に取り組む活動を通して、主体的に判断し、他者と協調しながら粘り強く取り組み、課題を解決する力を養う。

家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 校内の諸活動について、地域社会との連携を深めながら生徒が主体的に社会に貢献しようとする態度を育成する。 家庭と連携し、日常生活の中で、生徒が自己を尊重するとともに他者を尊重する心を育て、よりよい社会の構成者としての自覚を高める。
-----------	---